第6講　【中世編】イスラーム世界の形成と発展

# PART6 イスラームの社会と文化

## Chapter 1　イスラームの社会と思想

目標　イスラーム社会の特徴は何だろうか。
スーフィズム（神秘主義）がどのように生まれたのか知ろう。

### 1　イスラームの社会

①商業

西アジアや北アフリカに拡大しながら，公正な取引など商人の倫理を大切にする宗教として発展

②宗教と言語

イスラームによる社会は，同じ宗教とアラビア語を持つ文明として征服された広大な地域で展開

③文化

地域の言語や文化が融合されて**イラン＝イスラーム文化**，**トルコ＝イスラーム文化**，**インド＝イスラーム文化**などの多様性も形成

④都市の特徴

〔　　　　　　〕（礼拝堂）と常設の〔　　　　　　〕（市場），商人たちの宿である**キャラバンサライ**（隊商宿），公衆浴場が建ち，〔　　　　　　　　〕（学院）も設置

→モスクや病院などの公共施設の建設費や運営費は，財産寄進制度である〔　　　　　　〕によって維持される

※マドラサはイスラームの学者である〔　　　　　　　　〕を育成するための教育機関。11 世紀以降，各都市に設けられた。

モスク

スーク

## 2 シャリーアの形成

〔　　　　　　　　　　〕（**イスラーム法**）は，イスラームの信仰や倫理から家族や商行為などの世俗生活までに関わる規定。

①聖典『**クルアーン**（**コーラン**）』と，ムハンマドの言行（**スンナ**）に関する伝承である〔　　　　　　　　　　〕などを基盤として，**ウラマー**（学者）によって解釈された

②正しい解釈を行うための学問として**イスラーム法学**が発達し，ウラマーたちは司法や政治の分野で活躍するようになった

→拡大していくイスラーム世界でもシャリーアは統治の基本となった

## 3 スーフィズムの広がり

11 世紀頃　イスラーム世界の拡大とともに，禁欲的な修行により神との一体感を求める〔　　　　　　　　　　〕（神秘主義）が生まれた

①シャリーアの難解さや形式化に対して，個人の内面の信仰を重視するその教理は感覚的で民衆が受け入れやすかったため各地で広がった

②スーフィズムの修行者は〔　　　　　　　　　　〕と呼ばれ，高名な修行者は聖者として崇拝され，死後は聖者廟への参詣が盛んに行われた

→ 12 世紀頃　聖者廟を中心とした**神秘主義教団**も組織されるようになり，各地で活発に活動

③**カーディリー教団**

12 世紀にバグダードに組織された最古の神秘主義教団で，15 世紀以降イスラーム世界の各地に広まった

④**メフレヴィー教団**

13 世紀にアナトリア（現トルコ）で組織され，旋回する舞踏によって神との一体感を得る独特の信仰は，オスマン帝国時代には有力な教団に発展した

⑤イスラームの大衆化と布教に貢献

イスラームが中央アジア，インド，東南アジア，アフリカへ広がる背景にはムスリム商人の活動とともにスーフィズムが果たした役割も大きい

まとめ

商業を重視し，モスク等の公共施設はワクフで運営した。シャリーア（イスラーム法）で秩序を保った。
シャリーアの形式化とイスラーム世界の拡大によってスーフィズムが生まれた。

# Chapter２　イスラーム世界の文化史

目標　イスラーム世界の歴史書について学ぼう。
イスラーム世界は他の地域とどのように関わっていたのだろうか。

## 1　イスラーム固有の学問

『クルアーン（コーラン）』の解釈から発達した神学や法学，言語学，詩学，歴史学→アラブ人の「**固有の学問**」。

①教育機関**（マドラサ）**の設置

A　**アズハル学院**（ファーティマ朝期）

972 年カイロにつくられ，現在でもイスラーム法学の最高権威

B　**ニザーミーヤ学院**（セルジューク朝期）

スーフィズムを理論化した**ガザーリー**が教授を務めていた

②歴史学の発展

A　イル＝ハン国の宰相**ラシード＝アッディーン**による『**集史**』はモンゴル史の重要資料

B　イスラームを代表する歴史家〔　　　　　　　　　　　　　　〕は

主著『**世界史序説**』で都市と遊牧民の交渉から歴史の法則性を探った

## 2　外来の学問

哲学・医学・天文学・幾何学・光学・地理学などの分野→「**外来の学問**」。

→９世紀，バグダードの**知恵の館**に移して組織的に翻訳作業

※中国で生まれた製紙や火薬，羅針盤の技術もイスラーム世界を通して西欧に伝わった。

①**イブン＝ルシュド**（ラテン語名**アヴェロエス**）

**アリストテレス**の著作への注釈によりスコラ学に大きな影響を与えた

②〔　　　　　　　　　　　　　　〕（ラテン語名**アヴィケンナ**）

医学の分野では『**医学典範**』を著し，長くヨーロッパの医学の教科書とされた

③〔　　　　　　　　　　　　　　〕

『**旅行記（三大陸周遊記）**』は 14 世紀の世界を伝える貴重な資料

④**フワーリズミー**

代数学（アルジェブラ）を発達させる

⑤**ウマル＝ハイヤーム**

イラン暦を改良してより正確なジャラリー暦をつくった

⑥**錬金術**

特にアラビアでは物質と物質を化合させる実験として発展して近代化学の基礎となった

## 3 イスラーム世界の芸術

①文学

イランではペルシア語のアラビア文字表示によってペルシア語による文芸活動も活発化

A **フィルドゥシー**

ガズナ朝時代のイランの詩人。大長編叙事詩『**シャー＝ナーメ（王の書）**』の著者

B ［　　　　　　　　　　］

セルジューク朝時代の詩人。『**ルバイヤート**（四行詩集）』の著者

C 『［　　　　　　　　　　］（アラビアン＝ナイト）』

ペルシアの説話集より発展し，16 世紀に成立した説話集

②建築・美術

A **ウマイヤ＝モスク**

8 世紀前半にシリアのダマスクスに建てられた世界最古のモスク

B **スレイマン＝モスク**

16 世紀にオスマン帝国イスタンブルに建てられたモスク

C ［　　　　　　　　　　］

グラナダ（現スペイン）に建てられた 13 ～ 15 世紀のナスル朝の宮殿

D **タージ＝マハル**

17 世紀，ムガル帝国時代にイスラーム様式とインド様式が融合して建てられた墓廟

E ［　　　　　　　　　　］

植物やアラビア文字を幾何学的に図案化した装飾模様で，タイルなどで飾られた

F ［　　　　　　　　　　］（細密画）

中国絵画の技法に影響を受けて装飾的で，書物や写本の挿し絵として発達

まとめ

**歴史学がアラブ人「固有の学問」として発展し，『集史』や『世界史序説』のような歴史書が生まれた。**

**東アジアとヨーロッパの中間に位置するイスラーム世界では，他の地域との文化的な交流が進んだ。**

# 第６講　PART６　確認問題

**1**　イスラームの都市に建てられている礼拝堂はどれか。

①　スーク　②　モスク
③　キャラバンサライ　④　ミナレット

**2**　11 世紀以降，イスラーム諸国の都市に設けられたウラマーを育成するための教育機関はどれか。

①　モスク　②　ミナレット
③　スーク　④　マドラサ

**3**　イスラームの信仰から世俗生活までに関わるイスラーム法はどれか。

①　シャリーア　②　ハディース
③　スンナ　④　ワクフ

**4**　11 世紀頃，イスラームに生まれた禁欲的な修行により神との一体感を求める考え方を何というか。

①　ラマダーン　②　スーフィズム
③　ジハード　④　ヒジュラ

**5**　14 世紀にアラビア語で『世界史序説』を著した歴史家はだれか。

①　ガザーリー　②　タバリー
③　イブン＝ハルドゥーン　④　イブン＝ハズム

**6** ラテン名をアヴェロエスといい，アリストテレスの著作への注釈によりスコラ哲学に大きな影響を与えた哲学者はだれか。

① イブン＝シーナー　② イブン＝ルシュド
③ ウマル＝ハイヤーム　④ フワーリズミー

**7** 14世紀に北アフリカ・インド・中国などを旅行したイブン＝バットゥータが口述した著作はどれか。

① 東方見聞録　② 大唐西域記
③ 旅行記　④ 南海寄帰内法伝

**8** 植物やアラビア文字を幾何学的に図案化したイスラーム美術の装飾模様はどれか。

① ミニアチュール　② アラベスク
③ モザイク　④ オーナメント

# 第 6 講　PART 6　確認問題 解答

**1** 解答：②　イスラームの礼拝堂を**モスク**といい，イスラーム都市には必ず建設されている。

**2** 解答：④　イスラームの学者であるウラマーを育成するための教育機関は**マドラサ**である。

**3** 解答：①　イスラーム法である**シャリーア**は『クルアーン（コーラン）』やハディースの解釈から体系づけられている。

**4** 解答：②　イスラームに生まれた禁欲的な修行により神との一体感を求める考え方を**スーフィズム**という。

**5** 解答：③　イスラームを代表する歴史家**イブン＝ハルドゥーン**はアラビア語で『世界史序説』を著した。

**6** 解答：②　**イブン＝ルシュド**はアリストテレスの著作への注釈でスコラ哲学に大きな影響を与えた。

**7** 解答：③　イブン＝バットゥータが口述した『**旅行記（三大陸周遊記）**』は 14 世紀のイスラーム世界の重要資料。

**8** 解答：②　**アラベスク**は偶像崇拝が禁止されたイスラームの建築の装飾模様として多用された。